

令和4年11月17日ヒアリング資料（10/25提出資料）からの誤記修正一覧

【本編資料(1/3)】

章番号	該当頁 (10/25資料)	該当頁 (12/5資料)	修正内容
2.3.1 過去に巨大噴火が発生した火山	P70	P78	○照岸 1-3 ボーリングにおいて、深度 5.90～6.00m のシルトに関する記載が漏れていたため、追加した(補足説明資料 P202 についても同追加を実施。)
	P72	P80	○照岸 1-1 ボーリング、深度 4.40～4.50m のシルトに関する R3.10.14 審査会合以降の評価について、「(火山ガラスが混在)」の記載が漏れていたため、追記した(補足説明資料 P209 についても同追記を実施。)
	P72	P80	○照岸 1-3 ボーリング、深度 1.30～4.95m のシルト質砂礫に関する R3.10.14 審査会合以降の評価について、「(Toya に対比される火山ガラスが混在)」と記載していたが、誤記であるため削除した(補足説明資料 P209 についても同削除を実施。)
	P73	P81	○照岸 2-2 ボーリング、深度 5.30～6.00m のシルトに関する R3.10.14 審査会合以降の評価について、「(Spfa-1 に対比される火山ガラスが混在するものと考えられる)」と記載していたが、誤記であるため、適切な記載(「(Toya に対比される火山ガラスが混在するものと考えられる)」)に修正を実施した(補足説明資料 P210 についても同修正を実施。)
	P75	P83	○神恵内 M-1 ボーリングのうち、以下に示す堆積物に関する R3.10.14 審査会合以降の評価について、「(火山ガラスが混在するものと考えられる)」の記載が漏れていたため、追記した(補足説明資料 P212 についても同追記を実施。) <ul style="list-style-type: none"> <li>・深度 6.05～9.25m の礫混じり砂質シルト</li> <li>・深度 12.80～14.40m の礫混じり火山灰質シルト</li> <li>・深度 14.50～14.80m の火山灰質シルト</li> </ul>

【本編資料(2/3)】

章番号	該当頁 (10/25 資料)	該当頁 (12/5 資料)	修正内容
2.3.1 過去に巨大噴火が発生した火山	P75	P83	○神恵内 M-2 ボーリング, 深度 9.50~9.55m の火山灰に関する R3.10.14 審査会合以降の評価について, 「Aso-4 の純層及び二次堆積物 b」と記載していたが, 当該深度は Aso-4 の純層であり, 二次堆積物 b は, 直上の砂質シルト下部であることから, 修正を実施した(補足説明資料 P212 についても同修正を実施。)
	P75	P83	○神恵内 M-2 ボーリング, 深度 9.80~10.63m の有機質シルトに関する, 主成分分析の欄において, 「○:実施」と記載していたが, 誤記であるため, 「-:未実施」に修正を実施した(補足説明資料 P212 についても同修正を実施。)
	P76	P84	○神恵内 M-3 ボーリングのうち, 以下に示す堆積物に関する R3.10.14 審査会合以降の評価について, 「(火山ガラスが混在)」の記載が漏れていたため, 追記した(補足説明資料 P213 についても同追記を実施。) <ul style="list-style-type: none"> <li>・深度 0.00~0.60m の礫混じり有機質シルト</li> <li>・深度 12.60~14.05m の礫混じり火山灰質シルトの上部</li> <li>・深度 14.10~14.95m の礫混じり火山灰質シルト</li> </ul>
	P76	P84	○神恵内 M-3 ボーリングのうち, 以下に示す堆積物に関する R3.10.14 審査会合以降の評価について, 「(火山ガラスが混在するものと考えられる)」と記載していたが, 誤記であるため, 適切な記載(「(火山ガラスが混在)」)に修正を実施した(補足説明資料 P213 についても同修正を実施。) <ul style="list-style-type: none"> <li>・深度 3.70~5.50m のシルト質火山灰混じり砂礫</li> <li>・深度 6.30~9.85m のシルト質砂礫</li> <li>・深度 10.15~11.10m の火山灰混じりシルト質砂礫</li> <li>・深度 11.10~12.60m の礫質火山灰混じりシルト</li> </ul>

【本編資料(3/3)】

章番号	該当頁 (10/25 資料)	該当頁 (12/5 資料)	修正内容
2.3.1 過去に巨大噴火が発生した火山	P76	P84	○神恵内 M-3 ボーリング, 深度 9.85~10.15m の火山灰に関する R3.10.14 審査会合以降の評価について, 「(Toya に対比される火山ガラスが混在するものと考えられる)」と記載していたが, 誤記であるため, 適切な記載(「(Toya に対比される火山ガラスが混在)」)に修正を実施した(補足説明資料 P213 についても同修正を実施。)
	P76	P84	○神恵内 M-3 ボーリング, 深度 9.85~10.15m の火山灰に関する, 屈折率測定の際において, 「-: 未実施」と記載していたが, 誤記であるため, 「○: 実施」に修正を実施した(補足説明資料 P213 についても同修正を実施。)
	P76	P84	○神恵内 M-3 ボーリング, 深度 14.10~14.95m の礫混じり火山灰質シルトに関する, 主成分分析の際において, 「-: 未実施」と記載していたが, 誤記であるため, 「○: 実施」に修正を実施した(補足説明資料 P213 についても同修正を実施。)
	P77	P85	○神恵内 H-2 ボーリング, 深度 16.05~17.40m の礫混じり有機質土混じりシルトに関する, 近接ボーリングとの対比の際において, 「-: 未実施」と記載していたが, 誤記であるため, 「○: 実施」に修正を実施した(補足説明資料 P214 についても同修正を実施。)

【補足説明資料(1/2)】

章番号	該当頁 (10/25 資料)	該当頁 (12/5 資料)	修正内容
4. 積丹半島西岸における 洞爺火砕流堆積物の有無に 関する検討	P205, P233 及び P238	P205, P233 及び P238	○照岸 1-3 ボーリングにおいて、深度 5.90～6.00m のシルトに関する表中の記載が漏れていたため、追加した。
	P207, P387 及び P462	P207, P387 及び P462	<p>(P207 及び P462)</p> <p>○神恵内 M-3 ボーリング、深度 9.85～10.15m の火山灰に関する、表中の R3.10.14 審査会合以降に実施した主成分分析の欄において、「-：未実施」と記載していたが、誤記であるため、「○：実施」に修正を実施した。</p> <p>(P387)</p> <p>○神恵内 M-3 ボーリング、深度 9.85～10.15m の火山灰に関する、表中の R3.10.14 審査会合以降に実施した屈折率測定の際において、「-：未実施」と記載していたが、誤記であるため、「○：実施」に修正を実施した。</p> <p>○また、これらの修正に併せ、P463 に記載していた、同堆積物に関する「(組成分析及び主成分分析)」についても、「(組成分析、屈折率測定及び主成分分析)」に修正を実施した。</p>

【補足説明資料(2/2)】

章番号	該当頁 (10/25 資料)	該当頁 (12/5 資料)	修正内容
4. 積丹半島西岸における 洞爺火砕流堆積物の有無に 関する検討	P207, P387 及び P474	P207, P387 及び P474	<p>○古宇川右岸-3 ボーリング, 深度 18.90~21.00m の砂礫及び深度 21.00~25.23m の砂礫に関する, 表中の R3.10.14 審査会合以降に実施した主成分分析の欄において, 「○: 実施」と記載していたが, 誤記であるため, 「-: 未実施」に修正を実施した。</p> <p>○また, この修正に併せ, P443 及び P474 の矢印下の黄色箱中に記載していた, 同堆積物に関する「(組成分析, 屈折率測定及び主成分分析)」についても, 「(組成分析及び屈折率測定)」に修正を実施した。</p>

以 上